

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 1月 6日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2070300542		
法人名	医療法人 健静会		
事業所名	上田病院 赤松の家		
所在地	上田市中央1-3-3 (電話) 0268 (29) 8700		
評価機関名	長野県高齢者福祉協会		
所在地	長野市南県町1001番地3 陽光ビル4階		
訪問調査日	平成20年12月26日	評価確定日	平成21年2月18日

【情報提供票より】(平成20年12月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成15年 3月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	15 人, 非常勤1人, 常勤換算6.62人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨耐火 造り		
	3階建 一部4階建て の2・3階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費15000 円
敷金	有( 円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (100,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,380 円		

### (4) 利用者の概要( 月 日現在 )

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	4名	要介護2	5名		
要介護3	6名	要介護4	3名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 84.4 歳	最低	76 歳	最高	92 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	上田病院
---------	------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

JR上田駅お城口から北に向かって徒歩5分ほど、上田市の中心地に上田病院がある。その隣の3階建一部4階建ての建物の2・3階部分の2ユニットが「赤松の家」である。ホームは明るく、随所に工夫された飾り物があり、運営理念が誰でも目に付く場所に掲げられている。地域の中でという思いが強く、車椅子利用の人も別所線に乗って電車の座席に乗り換え、楽しんでいるなど利用者の思いを大切にされている。また、運営者であられる医師が毎日気さくに利用者一人ひとりに笑顔で声を掛けられ対応されていることは、利用者も安心・信頼している姿が感じられた。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回(平成18年)の改善課題は介護計画の見直しについて入居者の状態や計画内容に応じた個別名期間設定の明記が求められていたが改善されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者・職員の外部評価に対する取り組みは前向きであり、全職員が自己評価を行ったことは評価に価する。外部評価による気づき・気づかされることの大切さを認識し、面接においては管理者の立場、職員の立場を若干の差異は感じられたが課題に対する取り組みは大いに期待できる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、定期的に行われており特に問題はない。残念ながら運営推進会議において家族からの意見が少なく、記録からも見えなかった。意思疎通が出来ているためと思うが、毎月日誌の記録(写し)を家族に送っているのに対して家族から感想など求めたら何か出てくるのではないかと推測される。いろいろな方法はあると思うが家族との信頼関係をより築いていくために上記の方法が突破口のひとつにもなればと期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	管理者・職員からの面接やアンケート調査から家族は、ホームを信頼していることが伺えた。主治医も家族・本人の今までの経過を大切に、利用者・家族本意であることから安心してホームで生活出来る。また、いざとなったら病院が隣なので医療に関して不安は感じられなかった。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	別所線に乗っての外出、あるいは上田市の大きなお祭り「上田わっしょい」に利用者・職員総出で参加をするなど積極的に地域の中へ出て行く姿勢が「ふるさと新聞」より感じ取られ、利用者の表情も豊かであった。今後は、自己評価の課題であった取り組み、小学校・保育園児・老人会などとの交流がさらに地域との密接な関係に進むことを期待したい。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>1. 理念に基づく運営</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「赤松の家」の理念はその人らしく個性を大切に事業所の理念を作り上げている。		「赤松の家」独自のパンフレットの作成に期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内の誰もが見やすい場所に掲示されており、理念もわかりやすく、利用者の達筆な筆書きで書かれていた。毎月のミーティングで理念を読み上げ実践に向け取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事など積極的に参加し、また、利用者の皆様と別所線に乗車して外出するなど地域への参加は積極的で地域の一員としての「赤松の家」の意図が感じられた。		日々、散歩などに出られて地域住民の皆様と挨拶を交わすなど心がけているがご近所の方に寄っていただかれるようなお付き合いができることを期待したい。そこから発展して防災についてお互いの協力関係ができることも期待したい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は外部評価を行うことで課題を明確にし、利用者本位の援助を心がけていた。全職員が自己評価を行っており、評価を活かした改善に取り組む謙虚な姿勢が伺えた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、二ヶ月に一回開催されており、記録から利用者、家族、地域代表、行政等と連携されていたことが伺えた。「赤松の家」の情報提供をして活動を理解していただけるよう勤めていたことも伺えた。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議日以外にも市の介護相談員などの訪問を受け、サービスの質の向上に努めていることが伺えた。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族への報告は、毎月日誌の写しを家族へ送付しており、家族からの信頼を得ていることがアンケートからも伺えた。金銭管理については、整備されていた。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営に関する家族等の意見は、家族への報告がきちんとされており、運営推進会議の記録からも、苦情や意見などは見られなかった。</p>		<p>運営推進会議で、職員が家族に毎月送っている日誌についての感想など家族から聞くと家族の思いも伝わり、さらによりよい関係が出来る事を期待したい。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者に不安や心配を与えないように最小限の異動が配慮されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5.人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者・管理者は、法人内外の研修に職員を積極的に参加させ、研修報告していることは研修記録から確認できた。</p>		<p>新人職員教育については、先輩職員が付いて業務を教えているが記録は不明。新人職員の業務の把握度や考えを記録させ、その結果において育成することを期待したい。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の事業者連絡会に出席し情報交換などしサービスの向上に努めている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者の様子を把握してから様子を観察し、個々に応じた支援に努めている。また、必要に応じ家族と相談されている。</p>		
<b>2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>毎日の生活の中で、一緒に食事を作ったり、職員が利用者から教えられていることが実際の場面や利用者とお話の中で随所に伺えた。利用者の表情もよく、日々の生活の延長と推測された。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	生活歴や支援の際によく話を聞き、希望を把握し利用者の意向に沿った対応をしている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	月1～2回のミーティングの中で話し合い、ご家族からのニーズもふまえて利用者担当が介護計画を立案している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	状態等に変化が生じた際はその都度見直し、作成している。またご家族が納得できない場合は来所していただき話し合いをしている。		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	併設のデイサービスセンターと連携を取り、イベント等を合同で実施したり、機械浴を借りたりと柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>機械的に併設の病院が対応するのではなく、利用者、家族の希望によりかかりつけ医としている。基本的には入所前の病院がかかりつけ医となっている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合でも個人を尊重し、併設事業所と連携し、対応している。終末期を向かえた方はいないが、最期まで看ることの方針はできている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の思いを尊重し、丁寧な言葉かけや対応をしている。また個人情報の取り扱いも慎重に行っています。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者と接する中で、本人の気持ちを尊重し、それぞれのペースに沿った支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員が一週間分の献立をたてているが、利用者と職員が共に野菜切り、配膳、食事、食器洗い、食器拭きと大切な活動の一つとなっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には二日に一回の割合で入浴となっているが、希望があれば毎日でも入浴することが可能となっている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	七夕祭等地域の行事に参加している。昼間だけでなく夜間もイルミネーションを觀賞しに出かけたりと積極的に取り組んでいる。また個人では裁縫、刺繍等好きなことが発揮できる場面を作っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日散歩、買物に出かけ季節を感じていただく支援をしている。また散歩コースには馴染みの場所を通り話題としている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関に鍵は掛けているが利用者の希望があり、職員が同行すればいつでも外出できるようにしている。		日中は玄関は鍵を掛けない対応を期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害時のマニュアルがあり、歩ける利用者がどれくらいの時間で歩けるかを計測し災害時の備えている。また備蓄品は水を確保し、食料は2,3日分多めにいつも買っている。</p>		<p>年2回避難訓練の実施をし避難の方法を身に付けることを期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>月に2回管理栄養士による栄養指導があり、一人ひとりの状態に合わせた支援をしている。一人ひとりの食事摂取量はケース記録に記入し把握している。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂は明るく、落ち着いた雰囲気である。壁飾り等も派手すぎず、さり気なく飾られており季節感がある。全体的に家庭的な雰囲気できちんと落ち着く。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた生活用品があるがごちゃごちゃせず、すっきりした居室となっている。全室冷暖房完備となっている。ベッドを好まない方にはマットを敷き床で寝ていただく配慮をしている。</p>		

 は、重点項目。